

令和8年度公益財団法人佐野市民文化振興事業団事業計画 (令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)

I. 基本方針

社会生活の中で人々は文化的な営みを求めつつあり、当事業団が果たすべき役割は、今日ますます重要なものとなってきている。

そのため、時代に即した文化的支援を積極的に行うべく、令和3年度から事業領域を拡大し事業の展開を図り、令和5年度から佐野市郷土博物館指定管理業務を開始し、令和6年度に事業団設立30周年を迎えた。新たな芸術・文化の振興事業に取り組むとともに、博物館指定管理業務では、市民に親しまれる博物館を目指し工夫を凝らした。

令和8年度は、佐野市郷土博物館の指定管理業務を引き続き3年間受託し、今後もより良い博物館の運営に取り組むとともに、これまでの公益事業を検証しつつ、基本理念である「すべての市民が優れた文化環境のもとで、うるおいと活力のある生活を営める地域社会の実現」を目指し、新たな方策も取り入れ、更なる事業展開を積極的に図る。

II. 公益目的事業

【1】芸術・文化に触れる機会を提供することを目的とした鑑賞、企画展共催事業、講座

舞台や演奏会などの鑑賞事業や文化・芸術に関する講座等を実施し、一方で地域の美術館や博物館等と共催するなどして、広く市民へ芸術・文化に触れる機会を提供する。また、市民がそれぞれの立場で文化的営みを行い、自己実現を図り、活力のある地域社会の文化的創造に寄与できるよう、セミナーなどを通して活動を支援する事業を実施する。

1. 芸術・文化鑑賞事業

地域における文化的環境の醸成と市民生活の充実、地域社会の文化的発展を目指して、身近な場所で芸術・文化を鑑賞できる事業を実施する。

(1) 美術館・博物館コンサート

美術館・博物館等と演奏者をコーディネートし、市民に生の音楽を気軽に鑑賞する機会を提供し、併せて美術品鑑賞や歴史資料見学の機会を提供する。

①美術館コンサート（5月31日）

・場所 東石美術館

②博物館コンサート（10月）※企画展開催時期に実施

・場所 郷土博物館

(2) 短編映画上映会

佐野市出身、在住の映画監督の短編映画作品を上映し鑑賞することで、その魅力を広く市民に伝える。また、監督から映画づくりにかける思いや、佐野にゆかりのある作品などについて語ってもらうことにより、芸術活動をより身近に感じていただく機会とする。

「短編映画上映会（仮）」（時期は調整）

・場所 唐澤山神社

(3) コンサートオンライン配信

開催したコンサート等の模様を当日鑑賞できなかった多くの人にも鑑賞できるよう、後日、ホームページ上でオンライン配信し提供する。

2. 美術品・歴史資料展示及び企画展共催事業

地域の博物館・美術館・文化施設等と連携しながら、芸術・文化や歴史をテーマに良質な美術品や貴重な資料などを企画展示し、市民の興味関心を高めて郷土への理解や愛着を深める事業を実施する。

(1) 郷土博物館企画展共催

企画展「お殿さまたちと人々の暮らし（仮）」の開催と連携して、一般市民向け展示解説冊子を発行し、郷土の歴史や文化財に関する関心と理解の促進を図る。冊子は市内学校、図書館等へ配布し活用を図る他、一般の企画展見学者や希望者へも頒布する。

3. 芸術・文化講座及び体験・人材育成セミナー

芸術・文化に対する興味関心の醸成と市民意識の高揚、市民自らの主体的な文化活動を促進するため、講座やセミナーを実施して芸術や文化に関する志向性の浸透を図り、文化活動を担う人材育成のための事業を実施する。

(1) アートプロジェクト

手軽に参加できるセミナーを開催し、自ら美術作品を制作する面白さ、人と一緒に描くことの楽しさを体験し、文化活動へのきっかけづくりとする。

・テーマ「新しい創作体験にふれるアートの時間」（時期・回数は調整）

(2) 佐野再発見専門講座

佐野の歴史や文化・芸術に関するテーマから、地域の魅力や奥深さを再発見する講座を実施する。郷土博物館春のテーマ展と連動し実施する。

・テーマ「縄文時代を知ろう（仮）」（時期・回数は調整）

(3) ミレニアル世代講座

これまでの講座では参加者が少なかった、主にミレニアル世代と言われる20代から40代の方たちを主な対象とした講座を実施し、文化活動や事業団・博物館をより身近に感じてもらうきっかけづくりとする。

- ・テーマ「地元を知り、日常を彩る」(時期・回数は調整)

(4) 子ども佐野文化発見講座

子どもと保護者を対象に、郷土の歴史や伝統文化の魅力を知り、学び、体験する講座を実施する。

- ・テーマ「佐野の伝統文化を体験しよう」(8月)

(5) 文化活動支援事業

事業団友の会による自主的な文化活動の取り組みや、博物館を含めた事業団が進める事業への参画等による市民の文化活動を支援する。

令和8年度は、引き続き友の会と連携して講座やイベントなどを企画運営すると共に、新たな人が文化活動に参加できるきっかけづくりなど、市民による主体的な文化活動の機会を提供する。

【2】市民の芸術・文化活動や伝統文化の保存・人材育成を担う団体に対する助成・支援事業

市民の文化的な活動や歴史・伝統に根ざした文化の継承・人材育成を支援することで、芸術・文化の振興・促進を図る事業を実施する。

1. 地域の芸術・文化振興活動事業助成金

市内で芸術・文化活動を行っている団体が主催する地域文化の向上を目的とする事業で、団体活動の特色を活かし、個性豊かな地域文化を創造する事業を助成する。

2. 地域の伝統文化保存・育成事業助成金

国、栃木県、佐野市の指定となった無形民俗文化財の保存や担い手の育成を目的とした事業を助成する。

【3】文化財の調査・整備・活用・博物館事業

佐野市内には、後世に伝えるべく史跡や貴重な歴史・文化遺産が多数所在しているため、佐野市が進める史跡整備や歴史・文化遺産の掘り起こしと活用に取り組み、佐野市郷土博物館の指定管理業務を担う利点を有効に活用して、資料収集や調査・研究の成果を市民に広く還元し、本市の歴史・文化的環境の醸成を図る事業を実施する。

1. 唐沢山城跡調査整備受託事業

唐沢山城跡の調査整備受託事業を中心に業務を実施する。国指定史跡が対象のため、文化庁や県教育委員会からの指導を受ける市教育委員会文化財課と綿密に連携して一連の業務を進める。

- (1) 西麓根小屋地区(御台所周辺)について、縄張調査の成果と平成26年度実施の航空レーザ測量図の成果を比較検証し、現地調査(踏査・測量)や記録化作業を行い、縄張図の修正を行う。併せて、調査・作業にあたり必要に応じ竹木の除去等の環境整備についても実施する。
- (2) 西麓根小屋地区における発掘調査について、調査計画の検討を行う。併せて、必要な現地調査等を実施する。
- (3) 踏査により、点在している石垣・石積みが確認された場合は、調査票等にまとめ、報告する。
- (4) 既存の史跡パンフレットについて、最新情報(調査成果等)を反映させたものを作成する。

2. 佐野市郷土博物館指定管理業務

令和8年度から3年間、指定管理者として佐野市から受託する佐野市郷土博物館の管理運營業務について、協定に基づき実施する。

博物館資料の展示・活用については、企画展やテーマ展のみならず常設展にも反映させるなど広く市民へ公開し、講座や講演会なども実施しながら、郷土の歴史・文化に対して興味関心や理解を深める機会を提供する。また、学校教育との連携を図りながら、青少年の学習を積極的に支援する。

令和8年度は新たな指定管理受託期間の初年度にあたり、これまでの取り組みを活かしながら、子どもたちをはじめ様々な方にとって、よりわかりやすく親しみやすい博物館を目指し、工夫・改善を図る。

(1) 資料の収集・保存及び管理

資料の収集、収蔵資料の適正な保存と管理を行う。

- ・重要歴史資料について購入をする。

(2) 資料の展示

季節ごとに企画展等を開催し、常設展示は適宜展示替えを行う。

- ・テーマ展「佐野の遺跡」(4月～6月)
- ・県博地域移動博物館「世界と佐野の昆虫展」及び関連事業
(7月～8月)
- ・企画展「お殿さまたちと人々の暮らし(仮)」及び企画展記念講演会等
(10月～12月)
- ・収蔵資料展「暮らしのうつりかわり～古い道具と昔の暮らし～」
(1月～3月)

(3) 博物館学校利用推進

市内小学校・義務教育学校全校に対し博物館学校利用学習を支援する。
(対象人数 約 2, 6 0 0 人)

- ・ 6 年生「歴史学習」(4 月～6 月)
- ・ 4 年生「きょう土につくした人々」(1 0 月～1 2 月)
- ・ 3 年生「佐野市のうつりかわり」(1 月～3 月)

(4) 展示解説ボランティア活動

学校利用の学習支援等において、ボランティアによる展示解説の活動を進める。また、ボランティア講座を開催し活動の担い手を育成する。

(5) 各種講座等

一般市民を対象にした講座等を、年間を通して実施する。

① 講座

- ・「縄文土器で縄文料理を作ってみよう」(5 月)
レプリカの縄文土器や石器を使って縄文料理を作る講座
- ・「石器づくり」(5 月)
原石から石器づくりを体験する講座
- ・「古文書入門講座」(6 月)
近世文書の読み方を学び、簡単な古文書を読む体験
- ・「藍染講座」(7 月)
佐野で作られた藍でハンカチを染める体験をする講座
- ・「まが玉を作ろう」(7 月)
まが玉づくりを通じて、古代人の生活に触れる講座
- ・「てん刻講座」(1 1 月)
石材の印作りを体験する講座
- ・「展示解説ボランティア養成講座」(1 月～2 月)
学校利用等の解説活動の担い手養成を図る講座
- ・フィールドワーク「明治の佐野を歩こう」(時期は調整)
地図を持って佐野の町を歩き、歴史の痕跡を探す。

② 「博物館まつり」(1 0 月または1 1 月)

楽しみながら体験でき、郷土の歴史に触れるイベントを開催し、市民等が気軽に博物館に来館できる機会を設ける。

(6) 外部への協力

学芸員実習や職場体験、関係機関等からの協力依頼に対応する。

- ・学芸員実習(養成課程に学ぶ大学生対象)
- ・中学生マイ・チャレンジ事業(市内中学生)
- ・インターンシップ(市内高校生・大学生)

(7) 広報活動

- ・開館日、企画展、講座などを記載した年間パンフレットの配布
- ・来館者向けジュニアガイドの配布
- ・郷土博物館ホームページ、SNS 等による情報提供

その他、公立の登録博物館として必要な調査・研究・情報提供等を行う。

【4】芸術・文化に関する情報収集・提供事業

1. 事業団報の発行

事業団報『かがやき』第32号を9月1日に発行し、事業団の活動内容や業務実績を広報する。(46,000部発行、市内全戸・公共施設等に配布)

2. ホームページ等による情報発信

ホームページやSNSの活用を積極的に進め、事業団活動の紹介や情報、友の会活動の様子等も適宜発信し広くPRする。

【5】各種団体事業への後援

各団体等が実施する事業について、団体からの申請に基づき、相当であると認められた活動を後援する。

後援については名義使用に留まり、資金・物資・人的援助等を行わない。

令和8年度 公益財団法人佐野市民文化振興事業団 事業予定一覧

実施	事業名および内容	摘 要
4月	令和7年度事業・決算監査	会場：郷土博物館
	テーマ展「佐野の遺跡」(~6月)	会場：郷土博物館企画展示室
	博物館学校利用推進：小学6年生「歴史学習」(~6月)	会場：郷土博物館 対象：市内全小学校
5月	第1回通常理事会	会場：郷土博物館
	定時評議員会	会場：郷土博物館
	美術館コンサート	会場：東石美術館
	博物館講座「縄文土器で縄文料理を作ってみよう」、「石器づくり」	会場：郷土博物館等
6月	博物館講座「古文書入門講座」	会場：郷土博物館
7月	第1回事業検討委員会	会場：郷土博物館
	県博地域移動博物館「世界と佐野の昆虫展」及び関連事業(~8月)	会場：郷土博物館企画展示室等
	博物館講座「藍染講座」、「まが玉を作ろう」	会場：郷土博物館等
8月	アートプロジェクト	会場：郷土博物館
	子ども佐野文化発見講座	会場：調整
	経営状況の報告	報告：佐野市議会(9月議会)
9月	事業団報『かがやき』32号発行	配布：市内全戸、公共施設等
10月	博物館企画展「お殿さまたちと人々のくらし(仮)」及び記念講演会等(~12月)	会場：郷土博物館企画展示室及び講座室等
	博物館企画展 展示解説冊子発行	配布：市内学校、図書館等
	博物館学校利用推進：小学4年生「きょう土につくした人々」(~12月)	会場：郷土博物館 対象：市内全小学校
	博物館まつり	会場：郷土博物館
	博物館コンサート	会場：郷土博物館

11月	第2回事業検討委員会	会場：郷土博物館
	博物館講座「てん刻講座」	会場：郷土博物館
12月		
1月	博物館収蔵資料展「くらしのうつりかわり」(~3月)	会場：郷土博物館企画展示室
	博物館学校利用推進：小学3年生「佐野市のうつりかわり」(~3月)	会場：郷土博物館 対象：市内全小学校
	博物館講座「展示解説ボランティア養成講座」(~2月)	会場：郷土博物館
2月	第2回通常理事会	会場：郷土博物館
3月	臨時評議員会	会場：郷土博物館
年間	短編映画上映会	時期：調整
	コンサートオンライン配信	時期：適宜
	佐野再発見専門講座	会場及び時期：調整
	ミレニアル世代講座	会場及び時期：調整
	文化活動支援事業	期間：通年
	文化活動及び伝統文化団体助成	対象：該当団体
	唐沢山城跡調査整備受託事業	場所：唐沢山城跡内等
	博物館講座 フィールドワーク「明治の佐野を歩こう」	時期：調整
	ホームページ、SNS等の情報発信	期間：通年
	各種団体事業への後援	時期：適宜
<博物館> ・資料収集、保存及び管理 ・資料の展示 ・寄託資料、借用資料の更新 ・調査研究及び調査研究の支援 ・対外協力及び連携 ・広報活動	期間：通年にわたり適宜対応	